

平成11年度の基準改定で、衝突荷重を考慮して設計することが明記されました。擁壁等に衝突荷重を作用させると、許容応力度の超過、転倒に対する安定不足等の問題が生じます。こうしたことから、要求性能を満たしたプレキャストガードレール基礎を開発しました。

特長

1. 施工性に優れます

- ・ プレキャスト製品であることから、工期短縮が図れます。
- ・ 縦断勾配が12%までであれば、ガードレール支柱は垂直に施工できます。
- ・ 曲線半径15mまで対応できます。(連結金具は直線・曲線の両方に対応した金具を使用)
- ・ 擁壁前面に足場設置の必要がありません。
- ・ 軽量であることから小型機械で施工できます。
- ・ ガードレール支柱が路面側にないため、舗装施工が容易です。
- ・ 仮設時の道路拡幅が容易に行えます。



2. 経済性に優れます

- ・ 連結構造とすることで、軽量化を図りました。
- ・ 設置時の効率化を図りました。

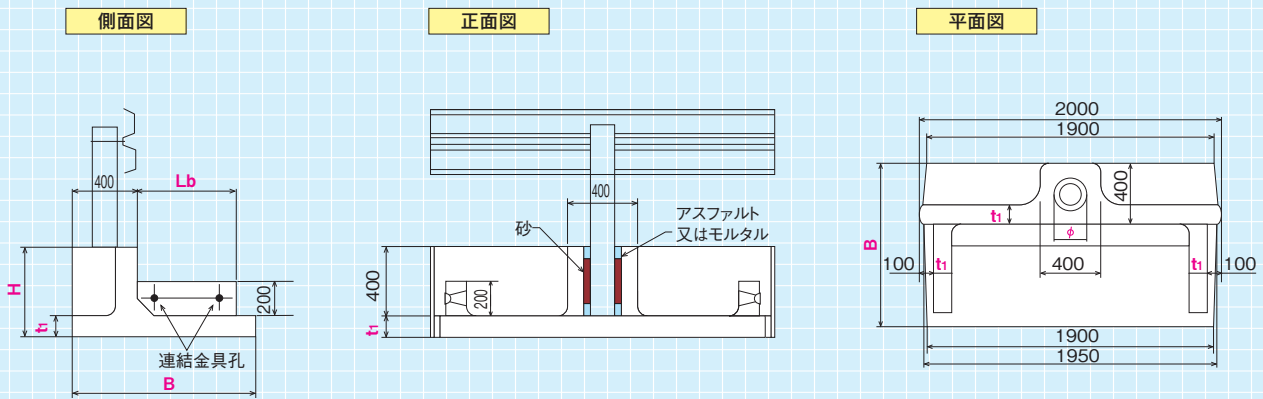
3. 安全性に優れます

- ・ 実物実験により、本体、連結部の性能確認を行っています。

4. 平成11年度以前の擁壁修繕(ガードレール取替等)を行う場合、天端部だけでガードレール設置が可能です。



標準型



●寸法及び数量表

(単位: mm)

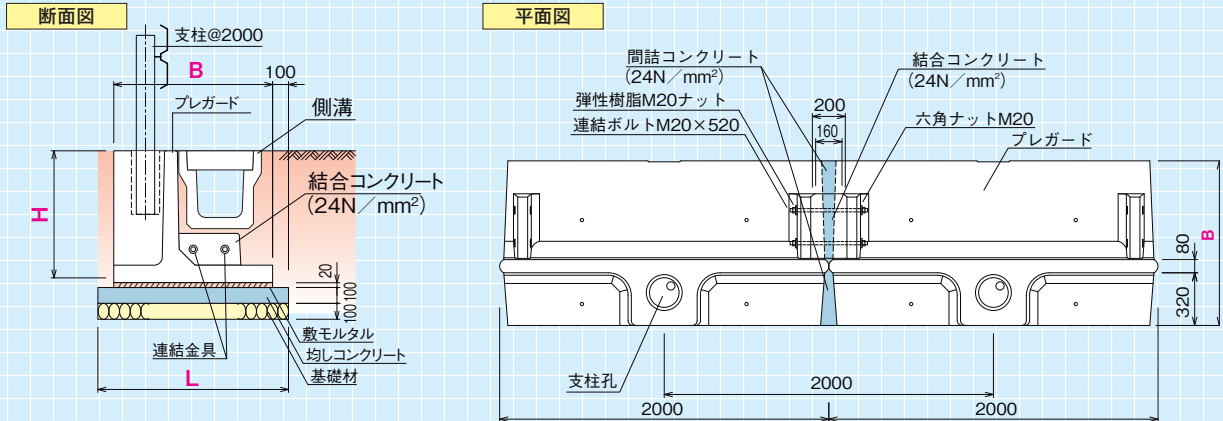
(10m当り)

名称	種別	H	B	t ₁	L _b	支柱穴φ	参考重量(kg)	数モルタル(m ³)	基礎コン(m ³)	基礎型枠(m ²)	基礎材(m ²)	結合コン(m ³)	同型枠(m ²)	間詰コン(m ³)	同型枠(m ²)	最低連結個数	
BC種	BC-20	480	800	80	400	175	630	0.160	1.000	2.000	10.00	0.070	0.200	0.020	0.070	10	
	BC-18							0.160	1.000					10.00	0.020	0.070	9
	BC-16	480	900	80	400	175	666	0.180	1.100	2.000	11.00	0.070	0.200	0.020	0.070	8	
	BC-14							0.180	1.100					11.00	0.020	0.070	7
	BC-12							705	0.200	1.200		12.00			0.030	0.080	6
	BC-10	480	1100	80	400	175	743	0.220	1.300	2.000	13.00	0.070	0.200	0.030	0.080	5	
BC-8	1200															781	0.240
A種	A-20	520	1000	120	500	200	980	0.200	1.200	2.000	12.00	0.090	0.200	0.040	0.110	10	
	A-18							0.200	1.200					12.00	0.040	0.110	9
	A-16	520	1100	120	500	200	1,037	0.220	1.300	2.000	13.00	0.090	0.200	0.040	0.110	8	
	A-14							0.220	1.300					13.00	0.040	0.110	7
	A-12							1,095	0.240	1.400		14.00			0.050	0.110	6
	A-10	520	1300	120	500	200	1,152	0.260	1.500	2.000	15.00	0.090	0.200	0.050	0.110	5	
	A-8															1500	1,266

- ご使用の際は、BC種、A種共に最低連結個数以上の延長が必要です。
- 曲線部の施工に際して目地が開く場合は、連結ボルトの長さを長くします。
- 縦壁部の間詰コンクリートは不要です。

側溝対応型

ガードレール基礎工構造図



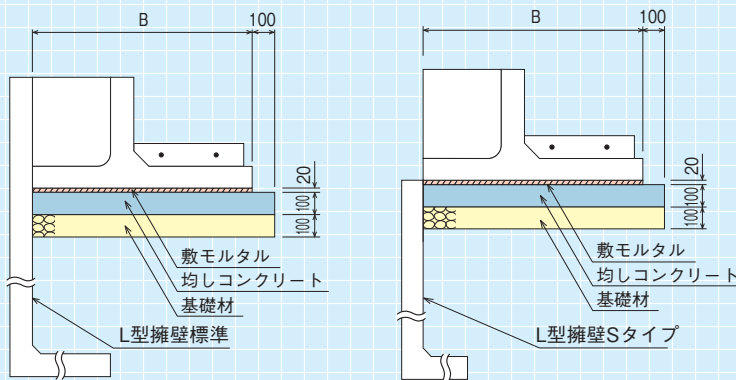
●寸法及び数量表

呼び名	H (mm)	B (mm)	L (mm)	参考重量 (kg)	敷モルタル (m ³)	均しコン (m ³)	型枠 (均し) (m ²)	基礎材 (m ²)	結合コン (m ³)	型枠 (結合) (m ²)	間詰コン (m ³)	型枠 (間詰) (m ²)	最低連結個数
BC-2012-300U	800	1000	1200	990	0.200	1.200	2.000	12.00					6
BC-2010-400U	900	1100	1300	1100	0.220	1.300	2.000	13.00	0.070	0.200	0.030	0.080	5
BC-2008-500U	1050	1200	1400	1250	0.240	1.400	2.000	14.00					4

- 曲線部の施工に際して目地が開く場合は、連結ボルトの長さを長くします。
- 縦壁部の間詰コンクリートは不要です。

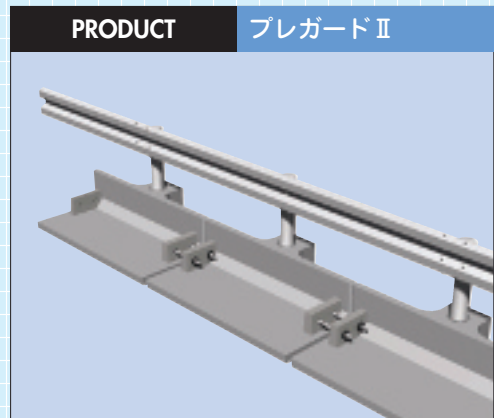
標準基礎構造図

プレキャストL型擁壁等の場合



●補強土壁の上に設置する場合

プレガード下部にゴムプレートを使用する際は、別途検討が必要です。



1 基礎工



2 設置状況



3 連結工

結合コンクリートは連結部に充填します。



4 完了

●参考歩掛表

名称	規格	単位	数量
世話役	—	人	0.25
普通作業員	—	人	0.75
ブロック工	—	人	0.25
プレキャストブロック	—	個	5.00
連結金具	—	個	10.00
ホイールクレーン	4.9t吊	日	0.25
結合コンクリート (BC種)	—	m ³	0.07
諸雑費	15%	式	1.00

※諸雑費には、敷モルタル及び間詰コンクリートが含まれています。